

遺跡の調査・研究をととして明らかになった旧石器時代の世界を覗いてみませんか？

関西大学博物館 ミュージアム講座 2025

「遺跡調査・研究の最前線」

【講演1】「旧石器時代を考古学する

－冒険と発見、論争の石器研究－」

講師 関西大学非常勤講師 山口 卓也 氏

【講演2】「旧石器時代の発掘調査

－松江市団原Ⅱ遺跡の発掘調査成果について－」

講師 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 西村 葵 氏

受講料
無料

12.13 (土)

時 間：13:00 ～ 14:30 (12:30 開場)

会 場：関西大学博物館 (簡文館内)

定 員：50名 (申込先着順)

受講料：無料

申 込：2次元コードまたは関西大学博物館HPのお
知らせから。11月10日(月)9時より受付。

<プログラム>

13:00～13:45 【講演1】 山口卓也氏

13:45～14:30 【講演2】 西村 葵氏

14:30 終 了

お申し込みはこちらから→
博物館ホームページからも可能



関西大学博物館
Kansai University Museum



旧石器時代を考古学する

－冒険と発見、論争の石器研究－

いつからヒトは日本列島に来たか。どの道をたどってきたのか。かれらはどう生活し、どんな社会だったか。彼らは、今の私たちとどのような関係なのか。

旧石器人は生活のために石の道具、石器を作った。木や革などの道具類は腐ったりして残らないが、石の道具は永遠に残っている。旧石器時代研究は考古学者がその石器を発見し、研究することから始まるという。河内長野市で発見した石器を取り上げ、旧石器時代研究の最前線を紹介する。

■主要著書

「旧石器時代における移動について」『ヒストリア』99 1983年
 「二上山を中心とした石材の獲得」『瀬戸内技法とその時代』1994年
 「濱田耕作の「二子山文化」と末永雅雄の「二上山文化」」『関西大学博物館紀要』28 2022年

関西大学非常勤講師

山口 卓也 氏
 YAMAGUCHI Takuya



博物館で
 お待ちしております！

2025年度関西大学博物館 ミュージアム講座

遺跡調査・研究の最前線

お申し込みは
 こちらから→
 博物館ホーム
 ページからも可能



関西大学博物館
 Kansai University Museum

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
 TEL: 06-6368-1171 FAX: 06-6388-9928
<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

【アクセス】 交通アクセス阪急電鉄梅田（大阪）駅から阪急千里線北千里行き乗車。十三・南方・淡路を経て「関大前」駅下車（約 20 分）。地下鉄堺筋線（阪急電車千里線相互乗り入れ）天下茶屋駅方面から日本橋・北浜・天神橋筋六丁目・淡路を経て「関大前」駅下車（約 30 分）。関大前駅 北改札口から徒歩約 10 分。

旧石器時代の発掘調査

－松江市団原Ⅱ遺跡の発掘調査成果について－

島根県が今年度実施した松江市大庭町に所在する団原Ⅱ遺跡において、3万年前に遡ると考えられる旧石器時代の石器製作跡を発見しました。周辺には、団原Ⅱ遺跡を含めて9か所の旧石器時代の遺跡が確認されており、県内でも有数の旧石器時代の遺跡が多い場所として注目されます。団原Ⅱ遺跡では地元産の石材の他、各地から持ち込まれたと考えられる石材も出土しました。本講演では、旧石器時代の発掘調査についてご紹介し、その意義についてもお話したいと思います。

■主要著書/開催展示会

「展望 山陰弥生墓研究上の課題」『菟原Ⅲ-森岡秀人さん古希記念論集-』2023年
 令和3年度荒神谷博物館企画展「四隅が出現したころ-副葬品は語る-」
 令和6年度冬季企画展「風土記の丘の弥生人-水田を開いた人々の歩みをたどる-」（島根県立八雲立つ風土記の丘）

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 主事

西村 葵 氏
 NISHIMURA Aoi

